



学校だより

令和6年 1月9日

横浜市立榎が丘小学校

～豊かにかかわり合い、しっかり学ぶ、心身ともに健やかなえのきの子～

TEL 045(983)1067 FAX 045(983)5284

HPアドレス <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/enokigaoka>



私の幸せ みんなの幸せ

校長 仲川 美世子

年末に、我が家ではちょっとした事件が起きました。給湯器が壊れ、お湯が出なくなったのです。キッチンの洗い物や顔を洗うのも冷たい水でするのはちょっと大変でした。お風呂ももちろんシャワーが出ないので、鍋に沸かしたお湯を何往復もして浴槽にため、手桶にくんで体にかけるという、小さい頃はそうだったかな？ と思い出しながらの数日でした。家族が「お湯が出ないことぐらい、戦争、紛争地域に比べたら大したことない」と言ったので、それもそうだと思います、ひねるとお湯が出る生活を当たり前だと思っていたことをありがたく感じる事ができました。

そんな小さなできごとを正月に集まった親戚と笑っていたら、まさかの大きなできごとが、それも二つも続きました。お湯どころか水も出ない、ライフラインの心配より命そのものの心配をされている方々がたくさん出てしまったことに本当に胸が痛みます。飛行機が炎上していく様子に、乗客はどうしたのだろうか、テレビの映像を見ながら鼓動は早くなるものの傍観するしかない、そんな時間を過ごしました。

幸いなことに、戦争や紛争は今の日本では直接の心配は感じていません。物価などへの影響は考えられるかもしれませんが、それだってその地域の人たちからしたら何でもないことでしょう。さらに、今回の能登地震についても、親戚、友達、職場の同僚など、自分との直接のつながりをまず考えてしまいます。なんてちっぽけな人間なんだろうと思うのですが、東日本大震災の時にもいろいろなことがあったのに、喉元過ぎれば……で物質的な豊かさや便利さを求めてしまう自分がいます。

思えば、家族がそろって食事をしているとき、のんびりとくつろいで本を読んでいるとき、暖かな日差しの下で犬の散歩をしているときなど、私たちの日常の中にはたくさんの幸せな時間があります。その幸せがいつしか当たり前のものでなくなってしまっていてありがたさを実感することなく過ぎてしまっているように思います。

「私の幸せ」は「家族の幸せ」そしてそれは「知っている人の幸せ」につながり、「みんなの幸せ」に広がっていくはずです。「私だけの幸せ」を求めてしまったら「みんなの幸せ」まで広がりません。こんな時だから言いやすいのですが、こんな時だけではなく、喉元を過ぎ去ることのないように「私の、みんなの幸せ」を考えられる人になりたいものです。

今年もこの先いろいろなことがあるでしょう。その中で、「私だけ」を考えることなく、目の前にある当たり前に幸せを感じていきましょう。そしてそれがみんなのものになるように少しの努力と少しの融通と発想の転換で「みんなの幸せ」を感じて過ごすことのできる1年にしたいものです。

地域の皆様、保護者の皆様、本年もどうぞよろしく願いいたします。